

地区社協トピックス



今月は東児地区です！

6月10日(月)、東児地区社会福祉協議会の活動計画のひとつである「ボランティア相談員研修会」が開催されました。参加された方々は、相談員としての役割の理解や各地区でのマップづくりを通して、見守り体制の強化を図りました。東児地区社協では、「自然を活かした安心・安全なまち 東児」をスローガンに掲げ、地区での勉強会や3世代交流フェスティバルなどの取り組みを行っています。

＜ボランティア相談員研修会！＞



話しあい・助けあい・支えあい
暮らしやすいまちづくり 地域の福祉の力

～ 地区社協の活動 ～ うちの自慢パート2



荘内地区 (大西会長)

『小さな助け合い 笑顔あふれる絆』
地区ボラセン立ち上げに向け、チラシによる広報やサポーターの募集など、準備を頑張っています！



玉原地区 (城戸会長)

玉野市で初めて、地域でカフェを始めました。落ち着いた店内で飲む体に優しいコーヒーが自慢です。



東児地区 (岡崎会長)

『自然を活かした安心安全なまち東児』
毎年、三世代交流を目的に行っている「春休みこどもフェスティバル」。コロナが終息して開催できますように。



和田地区 (三浦会長)

何よりの自慢は、依頼数が大変多いこと、リピーターが多いことです。「ありがとう」「大変助かりました」の言葉を胸に、サポーター一同「地域のために」と頑張っています。



日比・渋川地区 (氏家会長)

コロナ禍でカフェはお休みしていましたが、6月21日から再開しました！お手伝いは地区からの要望も多く、今年は5月末時点で65件実施しています！



話し合い・助け合い・支えあい
暮らしやすいまちづくり 地域の福祉の力

ー地区社協の活動ー
うちの自慢を紹介！



荘内地区 (大西会長)

小さな助け合い 笑顔あふれる絆
地域の協力で、地区ボラセンの拠点が
無料で見つかりました！みんなで清掃
活動も行い、きれいな拠点ができました！



玉原地区 (城戸会長)

「専門職が時間をかけてじっくり
話を聞いてくれるのがとっても
良い♪」と健康相談が好評です。



東児地区 (岡崎会長)

各自治会に「地区相談員」を配置し、
日頃の困りごと相談に応じたりする
活動をしていますよ～。



和田地区 (三浦会長)

お陰様で、多岐にわたる困り事の
解決依頼が年々増えておりますが、
サポーター不足が課題です。

★サポーター募集中★



日比・渋川地区 (氏家会長)

カフェ「えがお」は、地区外の方も大歓迎！
「一人で家にこもってないでお茶を飲み
に来られ～」楽しい時間とみんなの笑顔で
元気になれるよ！



話し合い・助け合い・支えあい
暮らしやすいまちづくり 地域の福祉の力

ー地区社協会長から
新年度の挨拶ー



荘内地区 (大西会長)

小さな助け合い 笑顔あふれる絆
地区ボランティアセンターの立ち
上げ等、より住みやすい荘内地区を
目指します。



玉原地区 (城戸会長)

今の2つの柱(ボランティア・カフェ)を
大事にしながら、地域のニーズにこたえ
られるよう、新しい事にも取り組んで
いきます。



東児地区 (岡崎会長)

自然を活かした安心安全なまち東児
をスローガンに、地区住民が安らぐまち
づくりを目指して活動しています。



和田地区 (三浦会長)

困り事を解決するとともに互助の精神
を広め、孤立者を出さず、住みよくて
好きだと実感できる地域を目指します。



日比・渋川地区 (氏家会長)

笑顔 ひろがる まちづくり♪
皆で温かい食事を囲む事ができる
居場所づくりに取り組みます。



話し合い・助け合い・支えあい
暮らしやすいまちづくり 地域の福祉の力



地区社協の活動を一部紹介します！

荘内地区



地区ボラセン立ち上げに向けて準備中



東児地区



ボランティア相談員研修会や
子どもフェスティバル等今後の
活動に向けて話し合い



玉原地区



地区ボラセンやカフェ・看護師等の専門職
による健康相談実施中



和田地区



地区ボラセンや百歳体操・サロン実施中

日比 渋川地区



地区ボラセンやカフェを実施中

現在、東児・和田・玉原・日比渋川・荘内地区に設置されています。
コロナ禍の中でそれぞれ地区の課題に対して話し合い、できることから取り組んでいます。



東児地区社協の動き



近藤医院 院長
近藤 潤次 氏



玉野警察署 交通課
係長 中村 靖司 氏



熱心に勉強される参加者の皆さま

交通安全や認知症の最新治療について学びました。

東児地区の住民を対象にした、東児地区勉強会を平成30年3月3日(土)、東児市民センターで行いました。参加した住民からは「最近高齢者の事故等が増えて来ているので、自分も気を付けなければならないと感じた」「認知症がどういったものかは知っていたが、治療方法についてはよく知らなかったため、勉強になった」という感想がありました。東児地区社協では、今後も住民が気になることに着目し、勉強会を継続したいと考えています。

東児地区社協の動き

今年も3月下旬に春休み子どもフェスティバルを開催します。今回で4回目となるこのフェスティバルは、東児地区社協の中でも大きな活動となっています。開催にあたっての思いを地区社協副会長の岡本さんに聞きました。



岡本さんのほなし

このフェスティバルをはじめたきっかけは、東児ライダーとふれあう子どもたちの喜んでる姿をみたとき、『これからの東児を担う子どもたちに何かを伝えたい』『地区社協が中心で進めることで地域おこしにつながるのではないかな』そんな思いからでした。回を重ねるごとに、内容がマンネリ化するという課題は出てきます。しかし、参加親子から「楽しかった」「子どもがライダーとふれ合った話を、夜まで話している」という声を聞くと、自分も元気をもらい、これからも続けたいという気持ちが生まれてきます。

地域に貢献したい思い、次の世代につなげる活動への気持ちが伝わってきます。玉野市社協はこの思いを大切に、東児地区社協のサポートをしっかりと行いたいと思います。

東児地区社協の動き



11月22日(火)、東児地区社協推進会議を開催しました。

はじめに、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすため、在宅医療に先駆的に取り組まれている近藤医院の近藤医師から、地域住民を対象とした専門職による各種勉強会の開催について提案がありました。東児地区社協の役員から「いろいろな情報を得ることで、地域での支え合いの強化や自分の介護予防にもつながる。」という意見があり、早速この提案を受け入れ、定期的に勉強会を開催することになりました。

初回は平成29年3月に、認知症についてをテーマに開催します。

【これからのスケジュール】

- 平成29年2月 ボランティア相談員研修会
「相談員と民生委員の連携について」
3月 勉強会「認知症について」
春休み東児子どもフェスティバル
「東児ライダーエイトショー」
「もちつき」etc



東児地区社会福祉協議会の動き

玉野市で初めてできた東児地区社会福祉協議会は、平成28年度で6年目を迎えます。

『自然を活かした 安心・安全なまち 東児』を理念とし、地区にあるさまざまな福祉課題に取り組んでいます。

例えば、「相談先が見つからない」という課題に対しては、自治会等の小さい単位で相談員を設置し、「危険な場所がある」という課題に対しては、「土砂災害警戒区域マップ」や「災害時の避難場所マップ」を作成し、災害についての意識を高めてきました。また、子どもたちと交流を深めるために、「東児地区子どもフェスティバル」を開催しています。この他にも、車いす体験やゴミ分別などの学習の場を設け、地域の理解を深めています。今後も住民の皆様とともに、より住みやすくなるよう活動を続けていきます。

